

第25回日本腎不全看護学会学術集会

PowerPointの音声録音方法と
MP4形式の動画作成マニュアル

目次

最低限必要な機能	P. 3
注意事項	P. 4
Windows マイクの確認方法	P. 5
Windows PowerPoint2019/Office 365の場合	P. 6
Windows PowerPoint2013/2016の場合	P. 11
Windows PowerPoint2010の場合	P. 15
Mac マイクの確認方法	P. 19
Mac PowerPoint for Mac 2019の場合	P. 21

最低限必要な機能

1. 音声入力ができる環境

- ・ PC内蔵マイクを使用する
- ・ ヘッドセットなど、外付けマイクの使用する

2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- Windowsの場合→ PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office 365 のいずれか
- Macの場合→ PowerPoint for Mac 2019, Office 365 のどちらか

※PowerPoint for Mac 2016の場合、MP4形式での保存ができません。

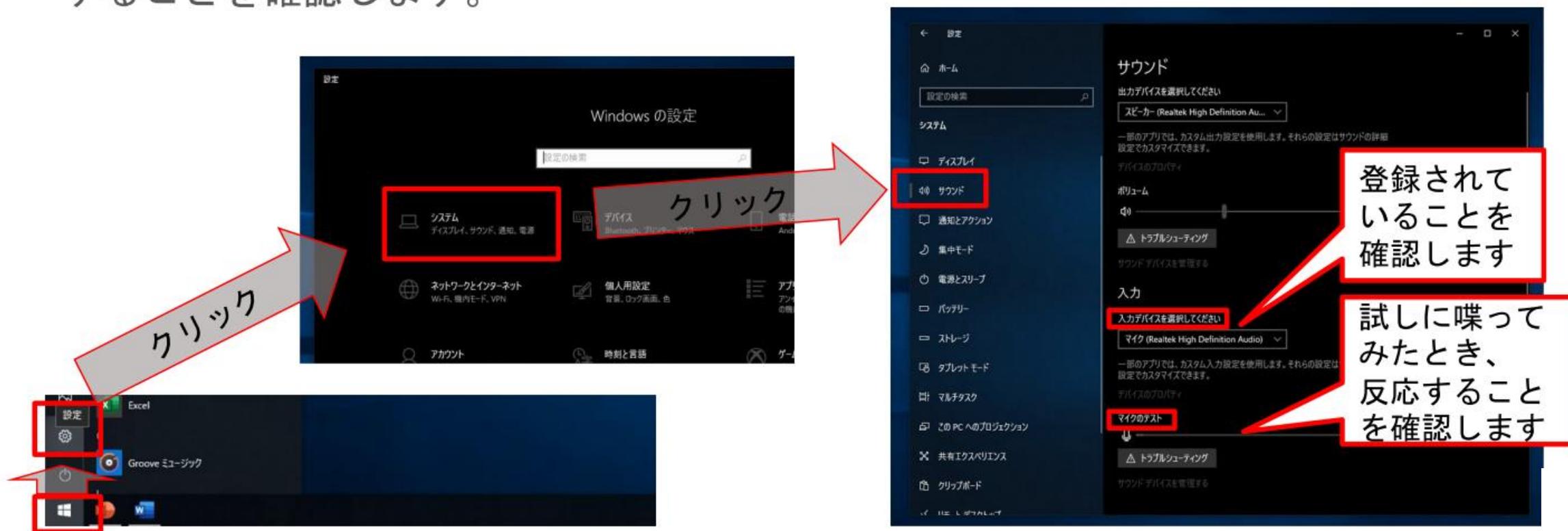
注意事項

- ・ スライドサイズは横型の16:9として作成してください。
- ・ 1枚目をタイトルスライド、2枚目をCOI開示スライド、3枚目以降を発表スライドとしてください。
- ・ 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画変換時に組み込まれてしまいます。プレゼンで使用しなかったスライドや、動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- ・ スライド枚数に制限はありません。
- ・ MP4形式の動画ファイル作成には、作成したスライドショーの長さと同程度の時間を要します。
- ・ MP4形式にて保存後、動画を再生して、音量が小さくないか、音ズレや雑音の具合をご自身でご確認のうえ、アップロードを行ってください。

セッション名	発表時間 (動画再生時間)
一般演題（口演）	10分

Windows マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。



Windows
PowerPoint2019/Office 365の場合

① [スライドショー]
タブをクリック

② [スライドショーの記録]をクリック

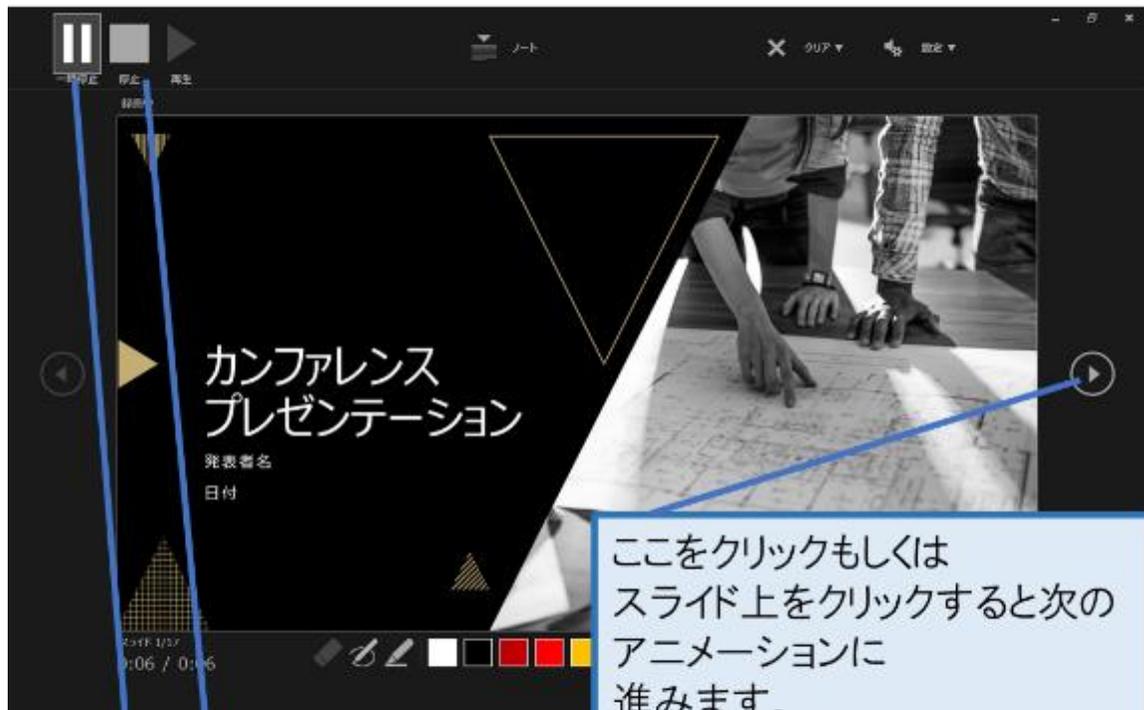


③ [先頭から録音]をクリック

④ [記録の開始]をクリック



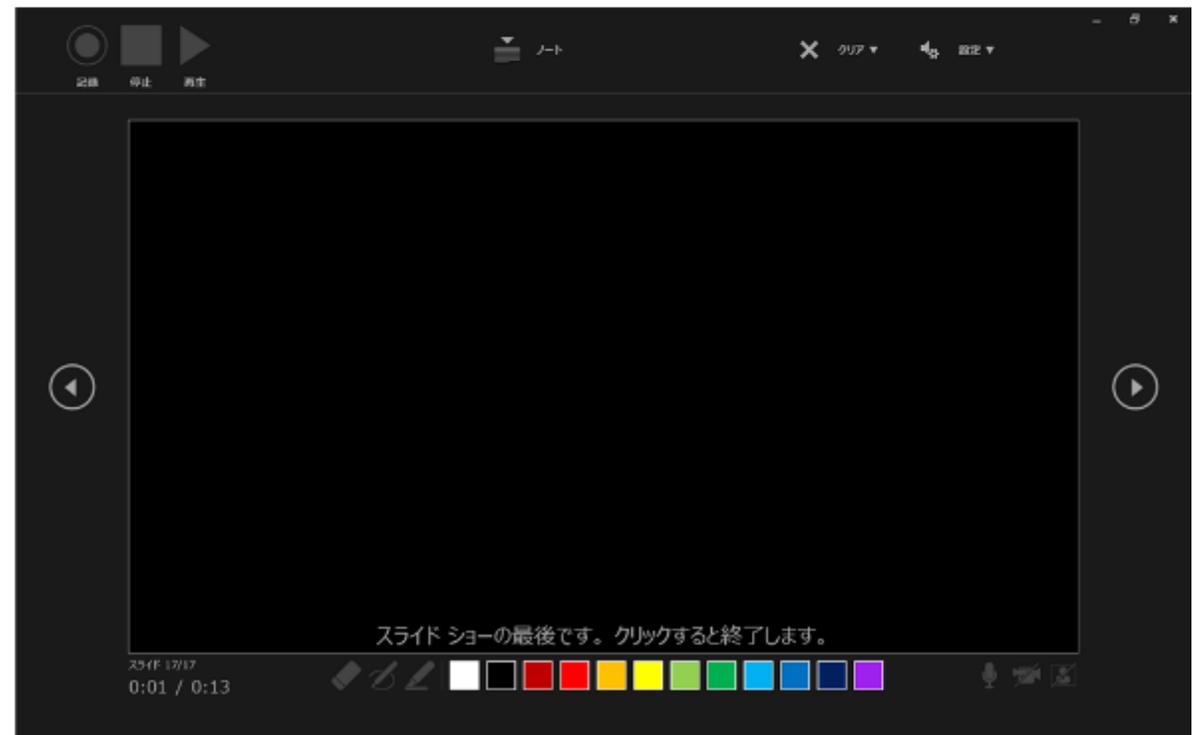
⑤ マイクに向かってナレーション録音
スライドも任意のタイミングで進める

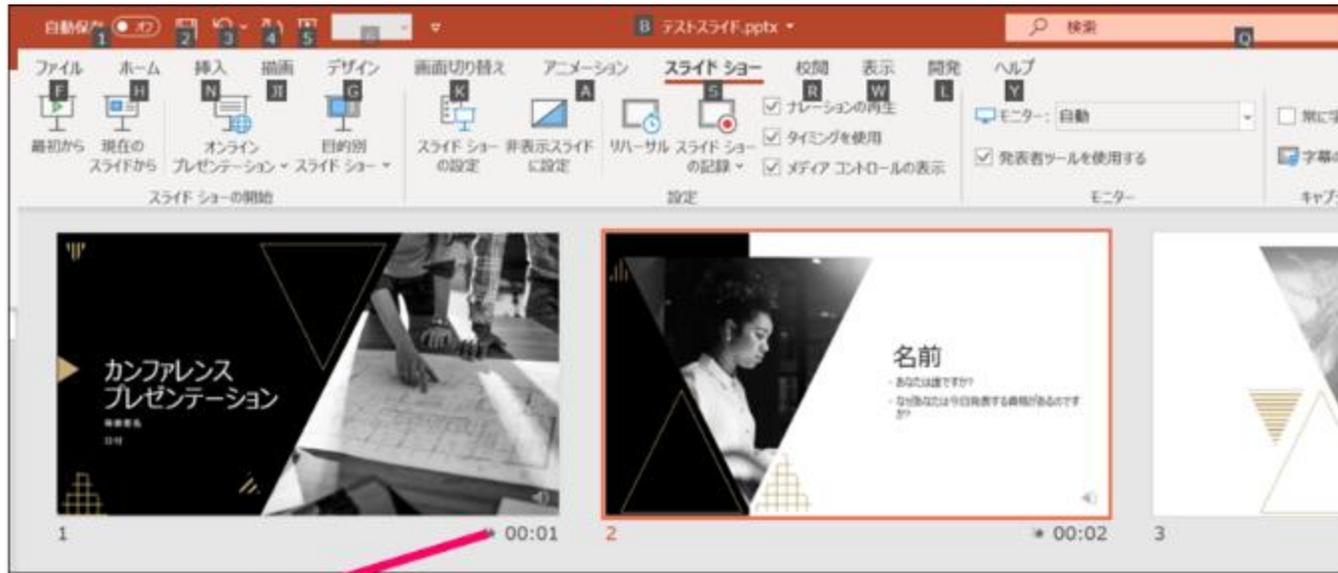


[記録の停止]をクリックすると
そこまでの記録が残ります

[記録の一時停止]をクリック
すると、再生中のアニメーションが止まります

⑥ 下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。
スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。

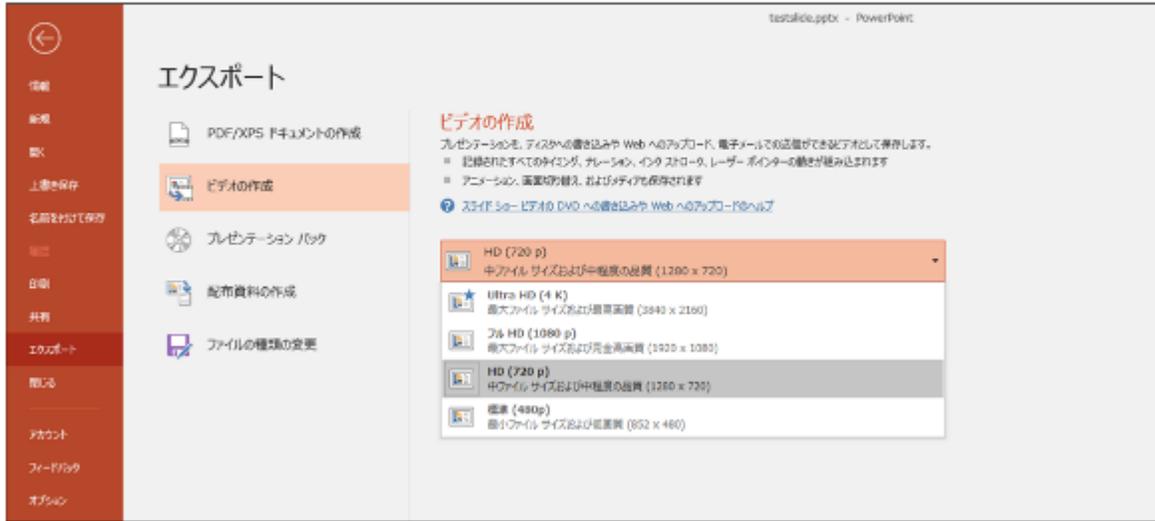




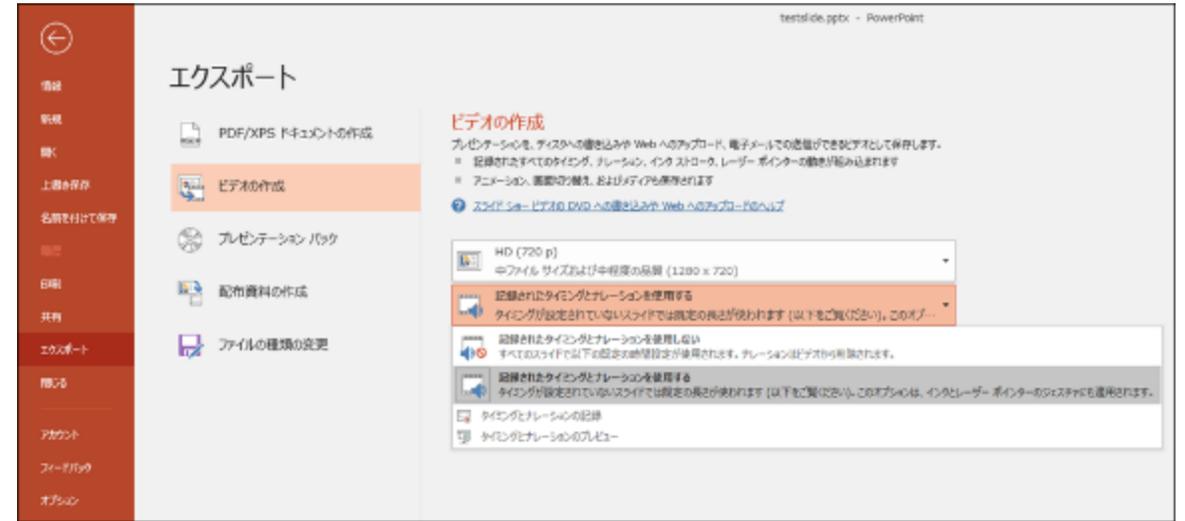
⑦ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

■ MP4形式への変換

⑧ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

動画を作成する時間は、スライドショーとほぼ同じ時間がかかります。

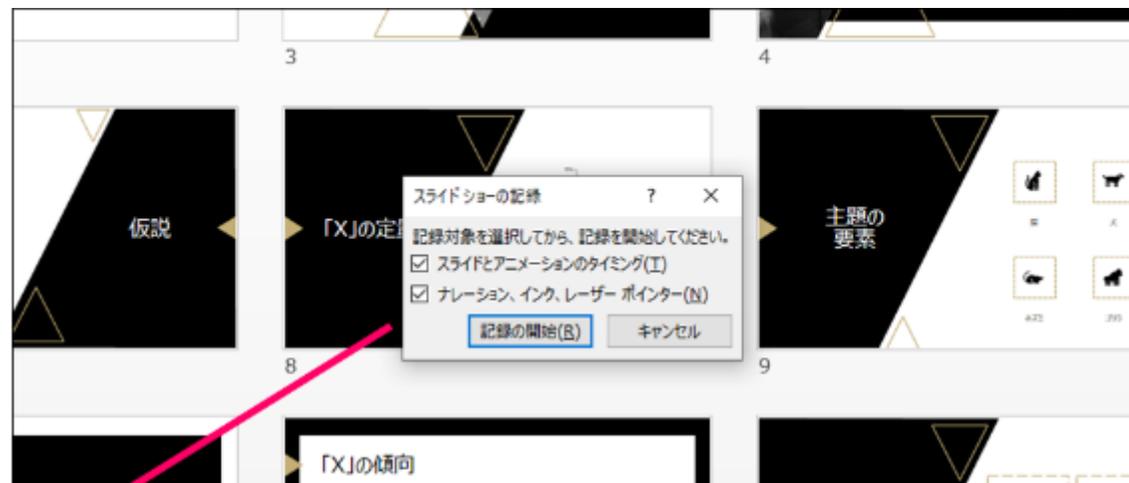
Windows PowerPoint2013の場合

① [スライドショー]
タブをクリック

② [スライドショーの記録]をクリック

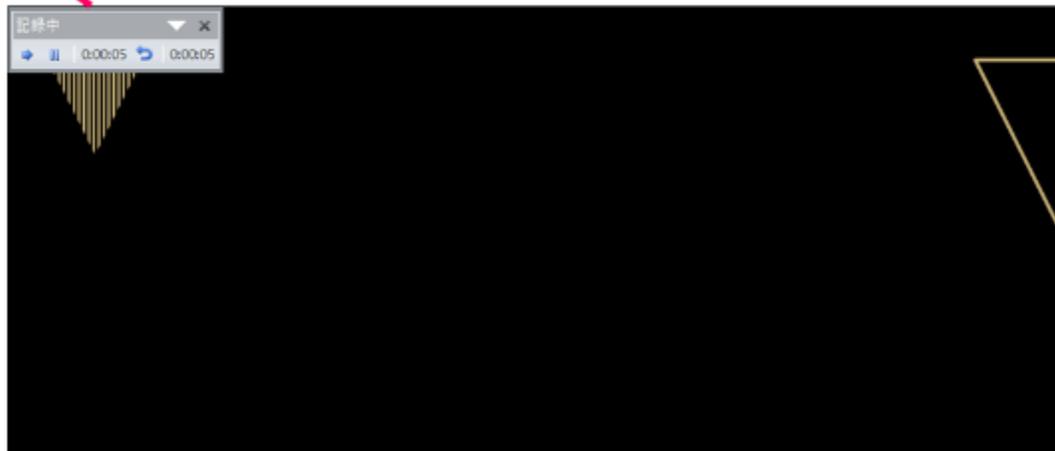


③ [先頭から録音を開始]をクリック



④ [スライドショーとアニメーションのタイミング]
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが
入っていることを確認して記録の開始

5 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



6 スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

■ MP4形式への変換

⑦ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

動画を作成する時間は、スライドショーとほぼ同じ時間がかかります。

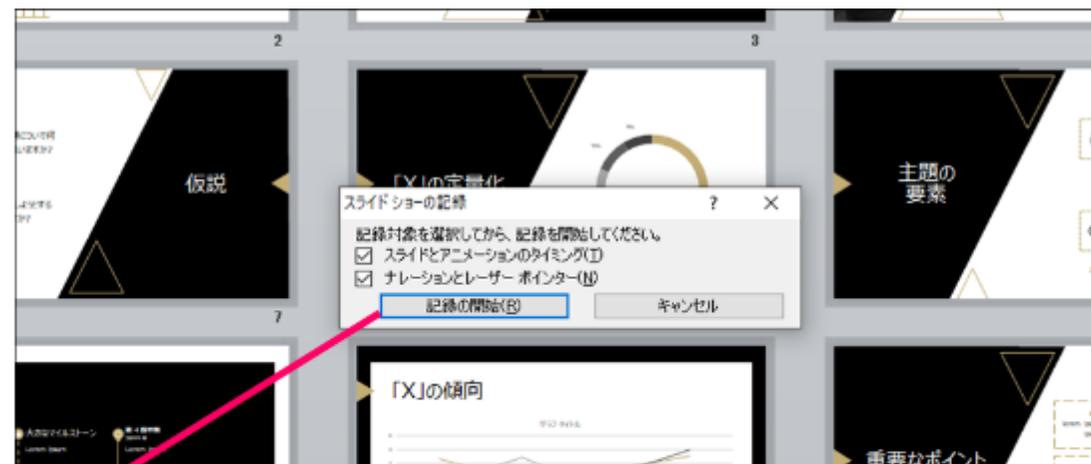
Windows PowerPoint2010の場合

①[スライドショー]
タブをクリック

②[スライドショーの記録]
をクリック

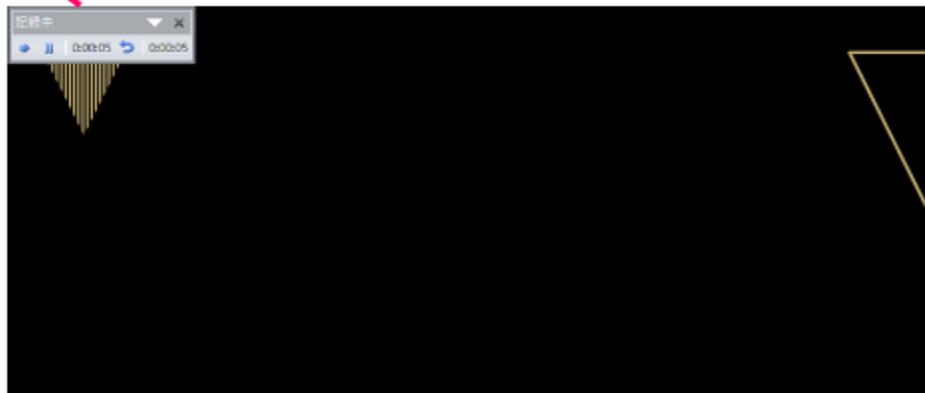


③[先頭から録音を開始]
をクリック



④[スライドショーとアニメーションのタイミング]
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが
入っていることを確認して記録の開始

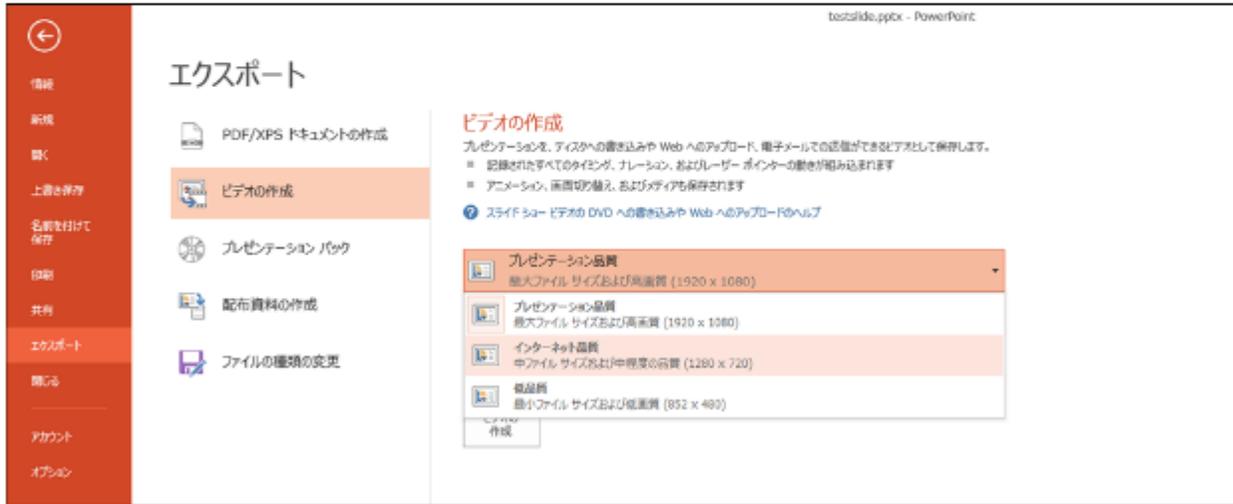
⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



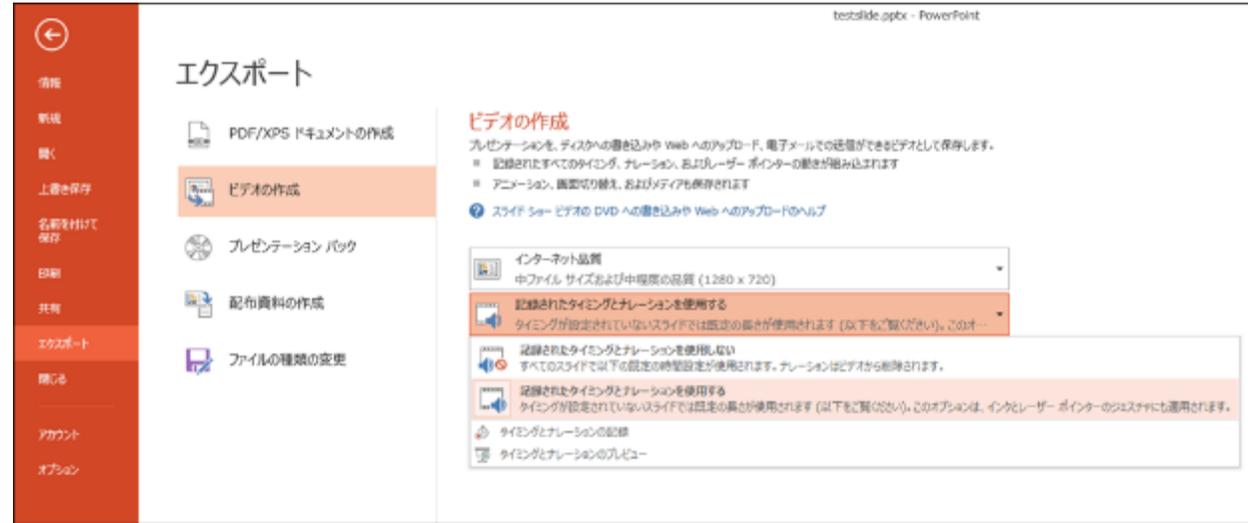
⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

■ MP4形式への変換

⑦ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

動画を作成する時間は、スライドショーとほぼ同じ時間がかかります。

Mac マイクの確認方法

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」>「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。



Mac
PowerPoint for Mac 2019の場合

PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。



クリックすると
画面が切り替わり
録画が開始する

1枚目が選択
されている
状態であれ
ばOKです。

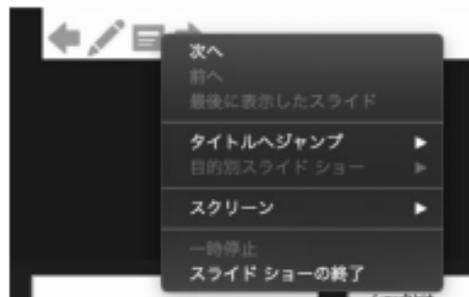
カーソルを合わせたとき、
「先頭から録音を開始」
という注釈が現れること
があります。



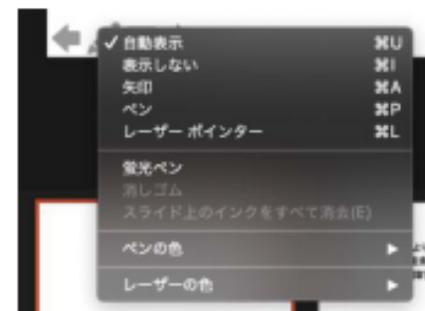
スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、**最終的に動画で記録されるのは、スライド移行のタイミングと音声のみ**です。また、**前のスライドに戻ると、戻ったスライド以降の録音を取り消される**ことに注意してください（**前のスライドに戻るの**は**推奨しません**）。

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個前のスライドに戻れます。ただ、戻るの**は**推奨しません。



左下のツールバーからペン、蛍光ペン、ポインターが使えますが、これらについては記録されません。



スライドショーの終了

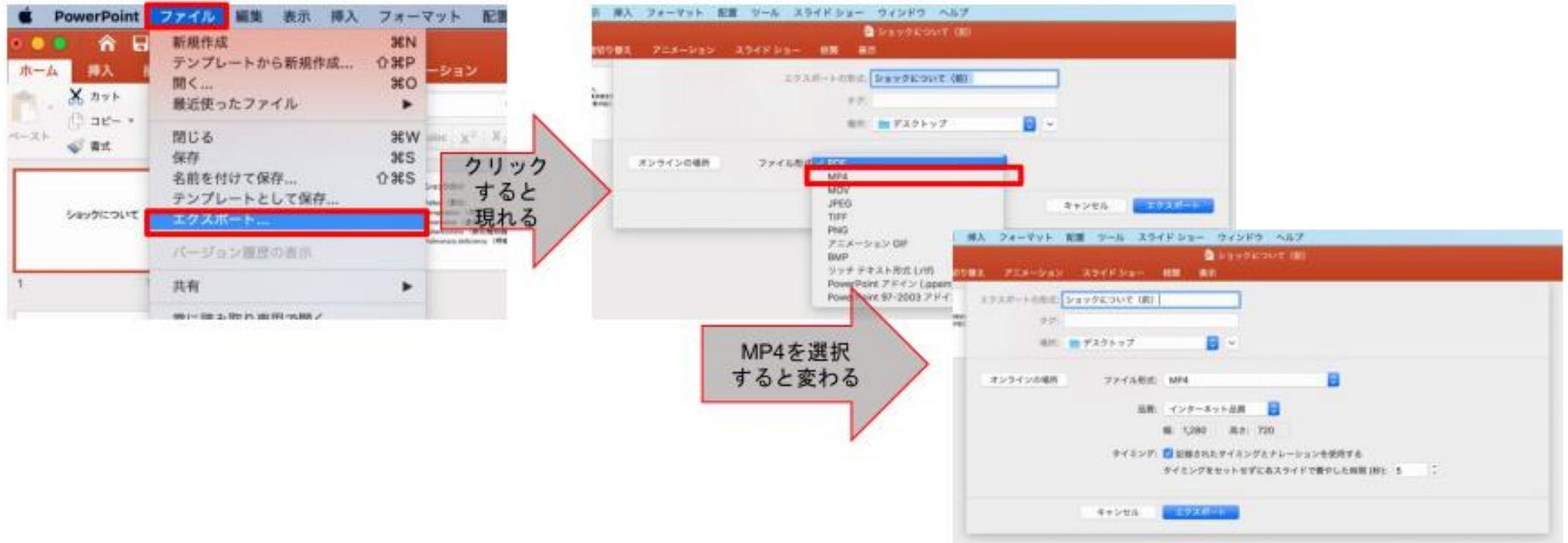
スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか?」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



■ MP4形式への変換

保存先の選択

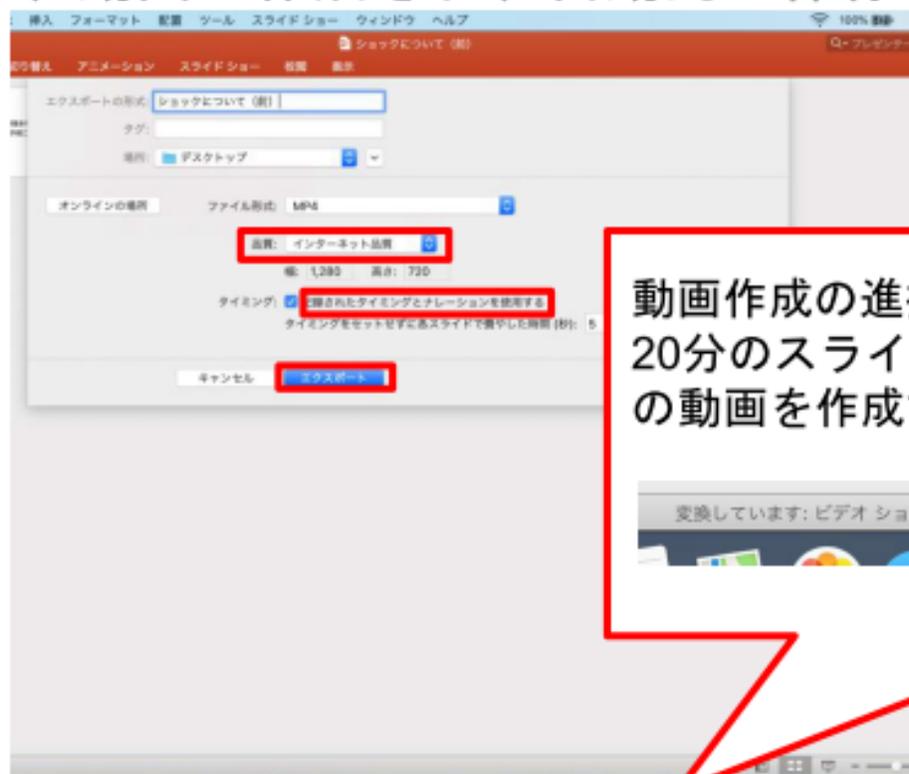
「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。



※PowerPoint for Mac 2016の場合、MP4形式での保存ができません。別のPCでMP4に変換するか、.pptx形式でデータを保存のうえ、PowerPointファイルを運営事務局までお送りください。ファイルをMP4に変換してお返しいたします。

画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示されます。
20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)
の動画を作成するのに約10分かかります。